

### 令和元年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	学生による地域課題解決事業「タテシナソン」
事業主体 (連絡先)	立科町企画課 (電話：0267-88-8403)
事業区分	(6) 産業振興及び雇用拡大に関する事業    オ    その他
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,973,700 円 (うち支援金：1,480,000 円)

#### 事業内容

地域経済の活性化を図るため、町内事業者が抱える経営的課題を、若者のアイデアを活用して事業化を図るための学生アイデアソン企画「タテシナソン-立科町をヤバくする学生アイデアソン。リアルガチの28時間-」を開催した。

令和元年9月6日～7日に全国や地元から若者20名と社会人6名が集まり、観光アクティビティ施設「マーガレットリフレクパーク」の課題に挑戦した。

多くの町民が参加した公開プレゼンテーションでは、28時間の現地調査や議論の末、各チームからアイデアが披露され、課題提供事業者が取組むアイデアに対して「タテシナソン大賞」が贈られ、参加者全員に「タテシナソン民票」を手渡した。

また、9月8日にはタテシナソン参加者による「タテシナソン民会議」が初開催され、有志学生の企画運営により、今後のタテシナソンの在り方や、自分たちと立科町との関わり方について議論された。

#### 事業効果

昨年度の様子を動画配信し、SNSの計画的な運用や県庁での記者会見等による広報の結果、募集人数20名に対して全国から36名の応募があり、非常に優秀な学生が集まった。その結果、公開プレゼンテーションで提案されたアイデアの質が高く、事業者によって実現に向けた取組が既に進められている。

また、本年度初の取組であったプロチームの参加により参加学生と事業者及び地域にとっても有益なアイデアを共有することができ、公開プレゼンテーションに参加した地元高校生を含む町民全体で、地域の未来への可能性を実感することができたものと思われる。

#### 今後の取り組み

- 事業化による町経済の底上げ  
→タテシナソン事業化支援会議を定期的で開催する予定(直近では10月24日開催予定)。
- 学生アイデアソンイベントとしての確立  
→事業化される学生アイデアソンという特徴を活かし、「タテシナソン」を全国にさらに周知。
- タテシナソン民(参加学生)との長期に及ぶ関係の構築  
→LINEグループの活用による情報共有及び、次回スタッフとしての参加受入れを行なう。

#### 【参加者集合写真】



#### 【目標・ねらい】

- ①町事業者の課題を解決するアイデアを生み、実現を目指すことで町経済の底上げを図る。
- ②町と意欲ある学生・社会人達との関係を構築する

#### ※自己評価【A】

##### 【理由】

定員を大きく上回る申込があったこととプロチームの参加により、提案アイデアの質が高く、事業者と地域住民が得られるメリット(経営の改善、地域にある価値・魅力の確認)が大きくなったと考えられるため。

また、蓼科高校の生徒9名がスタッフとしての手伝いを申し出てくれたことや、地元メディア(新聞、TV、ケーブルビジョン)で取り上げられたことにより、タテシナソンの意義・魅力が地域で認知されてきたため。

さらに、過去の開催によるアイデアが事業化され実績ができたため。